



有佐小だより

令和4年7月11日

第3号

文責 岩見 浩史

地域とともにある有佐小学校

6月13日(月)に令和4年度の有佐小学校運営協議会第1回会議を開催し、今年度委員をお願いした5名の方に八代市教育委員会からの任命書をお渡ししました。

八代市では、学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と位置付けています。「コミュニティ・スクール」の目的は、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育てることや、学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図ること、子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築などで、これにより、「地域とともにある学校」づくりを目指しています。有佐小学校は昨年度から「コミュニティ・スクール」としてスタートしましたが、八代市内の公立小学校は今年度中に全て「コミュニティ・スクール」に移行する予定です。

学校運営協議会では、校長から今年度のグランドデザインをもとに目標やビジョンについて説明し、委員の皆様から活発にご意見をいただきました。これからも地域の協力を得ながら、有佐小学校の教育活動の充実を目指していきたいと思ひます。委員の皆様には、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

お名前	備考
柴田 敬輔 様	地域コーディネーター
三笠 末喜 様	区長代表
上本 信子 様	民生委員代表
平寄 清和 様	学識経験者
岩本 誠 様	PTA会長

学習習慣、生活習慣の定着を目指して

昨年度12月に実施した熊本県学力・学習状況調査の児童アンケート(i-check)の結果から、有佐小の子どもたちの課題は、「言語活動の充実」「学びの活用」「生活習慣」「学習意欲」「学習習慣」「充実感と向上心」であることを、2月の授業参観の際にお話ししました。今年度5月に、再度3年生以上に児童アンケート(i-check)を実施し、先日結果資料が届きましたので、結果についてお知らせいたします。今回は、教科のテストはありませんでしたので、資料から分かる「生活習慣」「学習意欲」「学習習慣」「充実感と向上心」について、学年ごとにレーダーチャートに表しました。

グラフを見ると、4年生の「充実感と向上心」、5年生の「学習意欲」「生活習慣」「充実感と向上心」、6年生の「学習意欲」「充実感と向上心」など改善が見られるものもありますが、依然として「学習習慣」や「生活習慣」の定着が課題であることが分かります。

先週、「鏡中校区家庭学習の手引き」を配付しましたが、今年度は「子どもたちが自分で学習の計画を立てる力」を系統的に培っていくように改善しています。

また、子どもたちの興味・関心や意欲を学びにつなげるために、担任から出される「全員共通の宿題」の他に、「自分で選択・計画して学習する家庭学習」にも取り組んでいます。

生活習慣の改善については、ご家庭の協力を得ながら「動画視聴やゲームの時間の短縮」に取り組んでいく必要を強く感じています。

